

# てしかが歴史写真館 161



6月に行われたつつじヶ原馬車の旅

## 馬の祭り 郷土の自然 6 ～阿寒国立公園指定80周年～

農耕や木材の搬出、生乳の運搬など、馬と共に生活をする時代がありましたが、機械化によりトラクターや車などにその役目が移り、日常生活で馬との関わりは少なくなりました。現在は、生産事業や観光の新たな付加価値、ホースセラピーなどを展開する時代です。

暴風により公園内の森の木がなぎ倒され、散策路の歩行が不可能になり、車や重機が入れないため倒木処理ができない状況が発生しました。人力でも難しいために馬で搬出することを検討し、搬出作業の馬を探しましたが見当たりません。川湯の馬主さんに相談したところ「昔は馬搬をしたことはあったが、今の馬は搬出作業をしたことがないので、どのようになるか分からない」という返事でした。再度、馬以外の搬出作業はできない説明をしたところ作業の運びとなり、作業当日を迎えましたが、馬は慣れない場所に来ると、落ち着きがなく好奇心と警戒心が混ざった仕草をします。知らない場所で森の中に入り、やぶこぎをして倒木を搬出することは、馬自身に戸惑いがあるように見えたが、次第に慣れ搬出が進み、2日で作業を終えました。作業後の散策路は、倒木の搬出が整地作業と同じような効果を生み、凹凸がなくなり歩きやすい道となり、馬による搬出作業は自然散策路にやさしい結果となりました。

9月に第6回摩周湖ばん馬大会が地域が中心となり開催されますが、馬が数百キロの重りを乗せたそりを引く姿は圧巻です。祭りは文化の象徴であり、長い時間をかけて伝えられ、人と馬との関わりが強かった時代の知恵は、ばん馬大会に引き継がれています。北海道の馬の歴史を思いながら、秋の一日をばん馬大会で過ごすのも良いものです。

てしかが郷土研究会(藤江)



### 「達成感・自信とともにゴール！」

弟子屈町未来子ども協議会の主催で今年も行われた「元気いっぱい!僕らの旅!(アドベンチャーツーリング2014)」。8月6日に斜里町を出発した小学生9人が、自転車で180キロを走り抜き、10日にそろって弟子屈町に到着しました。

(関連記事2～9ページ)

Public relations magazine

2014.9

No.721

# てしかが

### 主な内容

- 元気いっぱい!僕らの旅!.....②
- 防災ワンポイントコーナー.....⑩
- 総合サービス室は役場の総合案内窓口です.....⑪
- 町のホームページがスマートフォンに対応.....⑫
- 初めまして!ウィル&ダニです.....⑬
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設.....⑯

てしかが 2014.9

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ☎482-2696  
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています